

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	安芸高田市立八千代中学校		
学校長氏名	松本 貴文	栄養教諭氏名	西坂 久美子
職員数	14名	児童・生徒数	70名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

昨年度から今年度にかけては、養護教諭が中心となって食育を行った。

昨年度「毎日朝食を食べる」と答える生徒は7月：79.3%、12月：79.7%であった。

食事内容が十分でない生徒もいる。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

食育に係る目標：学校・家庭・地域の連携を図りながら、健康を保持する基礎となる望ましい食生活や習慣を主体的に身につけようとする生徒の育成

[成果指標]・毎日朝食を食べると答える生徒を90%以上にし、望ましい食習慣を理解して自ら管理していく能力を身につけさせる。（目標値：90%以上）

・給食の残菜をなくしていく。（目標値：0%）

・生徒の食に関する意識を向上させる。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ）毎日朝食を食べると答える生徒を90%以上にする。

- ・朝会にて、保健委員が朝食について発表をし、全校生徒へ啓発を行った。
- ・食育掲示板で朝食を特集した。（食品模型による朝食組み合わせ体験・レシピ紹介など）
- ・文化祭での朝食をテーマとした掲示や保健だよりなどで、保護者へ啓発を行った。

【取組2】（テーマ）給食の残菜をなくしていく。

- ・特別活動「給食センターの仕事を知ろう」の授業の中で、給食に関わる様々な人たちの仕事内容や思いを伝えた。また、給食時間の指導の中で、生徒に必要な食事量について話をした。
- ・保健委員による「地場産物紹介（市内農家さん紹介）」を毎月全クラスで行っている。
- ・全国学校給食週間中、全校朝会にて、保健委員による「給食センター訪問・ビデオ発表」を行った。（全校生徒に給食センターへの質問を募り、保健委員が給食センターを訪問して直接インタビューをする等）
- ・食育掲示板に「世界と日本の食糧問題」についての掲示を行った。

【取組3】（テーマ）生徒の食に関する意識を向上させる。

- ・給食時間の指導、食に関する授業を、理科や家庭科等の各教科と連携し、積極的に行っている。
- ・指導内容をさらに深め、振り返ることができるよう、指導内容と食育掲示板を連携させている。
- ・行った指導内容が全校生徒に伝わるよう、食育だよりに掲載している。

食育だよりは生徒、保護者が関心をもって読むことができるよう、工夫をしている。

（一覧できる指導内容。生徒の活動写真を多く入れる。生徒の感想・ワークシートコメントを載せる。教職員の食に関するコラム・給食の思い出などを載せる。生徒が考え、生徒が書いた題字を使用。手書きの文字・イラストを織り交ぜる、等。）

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

以下の通り献立に取り入れ、給食センターからは給食日より、本校では保健日よりで保護者啓発を行った。また、情報委員による給食放送で生徒が実施を呼びかけた。

○豚肉と広島食材たっぷりの炒め物（9月29日実施）

○タコタコライス（10月19日実施）

…食育の日。青梗菜のスープなど、市内産の食材を使った料理と組み合わせた。

○ひろしまんぷく！シャキシヤキサラダ（10月26日実施）

○チキタコライス（11月17日実施）

…安芸高田市内小中学校（19施設）保護者対象 給食センター見学&試食会にて提供。

10月同様、市内産食材を使った料理と組み合わせた。

（当日の市内産食材～米・鶏肉・青梗菜・キャベツ・にんじん・だいこん・豆腐・白ねぎ・りんご）

「地元の食材を多く使ってくださっているのもありがたく嬉しいです。」などの声をもらった。

家でも子ども達と一緒に作ってもらえるよう啓発を行った。

また、毎年12月にとっている市内全校対象アンケートの中の「好きな献立」へも仲間入りをしており、子ども達の印象に残ったようであった。

○ワクワクJJJ（1月13日実施）

…給食センターで試作を重ね、アレンジを加えて提供した。

○タコーンサラダ（2月21日実施）

…2年前の100万食レシピである「タコーンサラダ」は毎年献立に登場する人気レシピとなっている。

今年度の本校3年生に「卒業までに食べたい給食」の聞き取りを行ったところ、「タコーンサラダ」をあげる生徒が何人もいた。海から遠い地域の学校だが、安芸高田市内の地場産物だけでなく、同じ広島県内でとれる地場産物についても興味関心を広げることができている。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

給食の残菜は年間を通して0%を達成している。市内中学校6校の中には残菜が多い学校もあるが、本校では継続して取り組んできた食育による意識の高さが表れているといえる。

【課題】

今年度「毎日朝食を食べる」と答える生徒は7月：82.6%、12月85.5%であり、目標値に届いていない。「食に関する意識の向上」については成果目標が明確になっていない。

6 今後の取組に向けた改善方策について

朝食については、小規模の学校であり、朝食を食べない習慣の生徒が固定化していることから、全体指導のみでなく個別指導が必要である。来年度は“生活リズムがんばりウィーク”を利用して朝食調査を行い、実態に応じた指導をしていく。また、食事内容に踏み込んだ指導も実施していきたい。

「生徒の食に関する意識を向上させる」ための取組については、具体的な目標を設定し、目標に応じた指導をしていきたい。

